



親会社ステラケミファの会社概要

【会社概要】

商号	: ステラケミファ株式会社 (STELLA CHEMIFA CORPORATION)
本社	: 〒541-0043 大阪府中央区淡路町三丁目6番3号
事業内容	: フッ素を中心とした高純度薬品の製造販売
資本金	: 31億8千万円
代表者	: 深田 純子 (代表取締役)
市場	: 東証1部、大証1部上場 (2000年)



ステラケミファ本社

主力製品 半導体・液晶用高純度フッ化水素酸
リチウムイオンバッテリー電解質
原子力発電用¹⁰B化合物 など

STELLA ホウ素同位体 (^{10}B) 濃縮技術

自然界のホウ素 (B)


三フッ化ホウ素
 $^{10}\text{BF}_3$: 19.8%
 $^{11}\text{BF}_3$: 80.2%



濃縮・分離

世界最高品質の濃縮 ^{10}B

三フッ化ホウ素
 $^{10}\text{BF}_3$: >99%




国内唯一の ^{10}B 濃縮プラント
(2000年11月完成)

<< ^{10}B の技術用途 >>
 原子力発電プラント関連
 使用済み燃料運搬関連
 防災・防御服関連
 がん治療 (BNCT)

STELLA PHARMA

BNCT事業への進出 (ステラケミファ(株))

フッ化水素 HF
 フッ化物 MF_x

1930年～国内での製造を開始。
 高純度化を達成し、エレクトロニクス分野での市場を獲得。
 主な使用用途：半導体、液晶の洗浄剤
 リチウムイオン二次電池の電解質 etc.

三フッ化ホウ素
 BF_3

国内で初めて工業化に成功。
 主な使用用途：各種反応触媒 etc.

濃縮ホウ素
 ^{10}B

国内で唯一工業化を実現。
 ホウ素の同位体濃縮技術は世界でも二社のみが
 有する技術。
 主な使用用途：原子力関連用途 etc.

BNCT

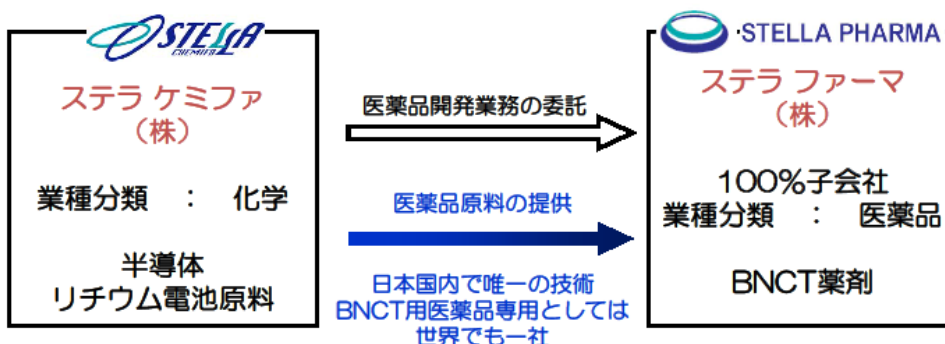
^{10}B 濃縮技術と高純度化技術を武器に
 国内で初めてBNCTの事業化に着手。



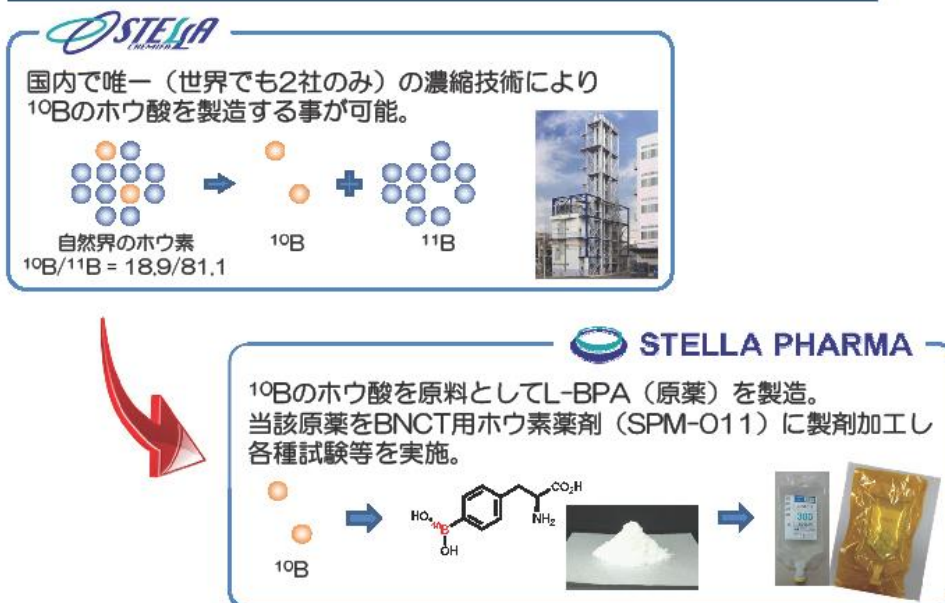
子会社としてステラファーマを設立し
 世界初のBNCT薬剤の承認取得を目指す！

STELLA PHARMA

ステラファーマ設立



BNCT用ホウ素薬剤 SPM-011の開発



ステラファーマ（株）の会社概要

- 商号** : ステラファーマ株式会社
 (STELLA PHARMA CORPORATION)
設立 : 平成19年6月1日
本社 : 〒541-0043
 大阪府大阪市中央区高麗橋三丁目2番7号
事業内容 : 医薬品の研究開発、製造販売等
資本金 : 19億円
代表取締役会長 : 藪 和光
代表取締役社長 : 浅野 智之
従業員数 : 25名 (平成27年4月現在)
研究拠点 : さかい創薬研究センター (大阪府堺市中区)
株主 : ステラケミファ株式会社、株式会社産業革新機構
 住友重機械工業株式会社
業界活動 : 平成20年4月 大阪医薬品協会加入 (薬事法規研究委員会委員)
 平成20年7月 第一種医薬品製造販売業許可取得 (大阪府)
 平成24年12月 第一種医療機器製造販売業許可取得 (大阪府)

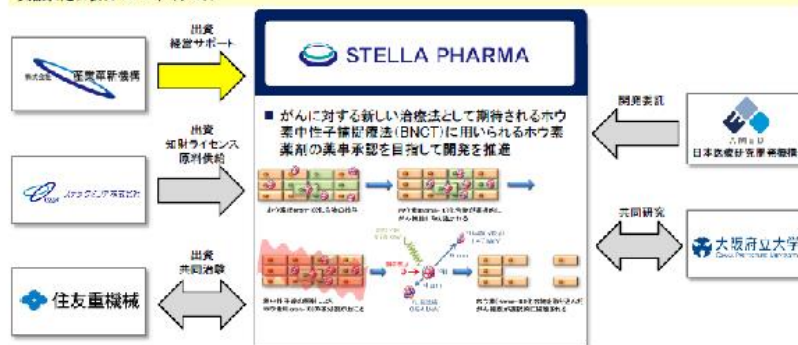


産業革新機構、住友重機械との連携強化

住友重機械工業と産業革新機構がホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) に用いるホウ素薬剤を開発するステラファーマ株式会社への出資を決定



投資対象: ステラファーマ株式会社
 事業内容: 医薬品及び医療機器の研究開発、製造販売等
 支援決定金額: 35億円 (上限)
 支援決定公表日: 2018年3月24日



- ・がんに対する新しい治療法であるBNCTの世界初の薬事承認・実用化を支援
- ・国内アカザミアと異業種メーカーのオープンイノベーションによる革新的医療技術開発を推進